

事務事業名	わかくさ図書館運営事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12437				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	市立図書館	課長名	滝沢 美保				
			所属担当	わかくさ図書館	担当者名	石原 美紀				
基本政策	基本計画	V 個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	01	一般	10	04	04	040	05
施策	35	生涯学習システムの推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業					
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		法令根拠	図書館法、南アルプス市立図書館条例						
	図書館業務の円滑な運営に努め、市民の読書活動や学習活動を高める。 ・資料の貸出・返却・予約・リクエスト・相互貸借 ・レファレンスサービス(調査相談) ・AVブース利用・PC利用・学習室利用 ・館内の展示・案内・壁面飾り ・職員の勤務及び研修への参加体制		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
事業の概要			消耗品費	271	リース料	189				
			燃料費	23						
			通信運搬費	60						
			手数料	5						
					計	548				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	開館日数 281日	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	開館日数 285日		ア	開館日数	日数
				イ	資料貸出数	点数
				ウ		
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア	図書館利用登録者数(自館)	人数
				イ		
				ウ		
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	図書館が暮らしに役立つことを理解し、インターネット利用件数、レファレンス件数、資料予約数が増える。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア	館内インターネット利用件数	件数
				イ	レファレンス件数	件数
				ウ	資料予約数	件数
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	図書館利用者の拡大		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア	新規図書館利用登録者数	人数
				イ		

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	538	466	548	549	549	549		
		事業費計(A)	千円	538	466	548	549	549	549	0	
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	983	983	1,008	1,008	1,008	1,008		
		人件費計(B)	千円	4,474	4,474	4,587	4,587	4,587	4,587	0	
		(A)+(B)	千円	5,012	4,940	5,135	5,136	5,136	5,136	0	
活動指標	ア	日数		286.0	284.0	281.0	285.0	285.0	285.0		
		イ	点数	59,749.0	64,683.0	66,623.0	68,622.0	70,681.0	72,801.0		
		ウ									
対象指標	ア	人数		5,793.0	5,922.0	6,100.0	6,283.0	6,471.0	6,665.0		
		イ									
		ウ									
成果指標	ア	件数		471.0	339.0	350.0	360.0	370.0	382.0		
		イ	件数	185.0	294.0	303.0	312.0	322.0	331.0		
		ウ	件数	2,146.0	2,215.0	2,281.0	2,350.0	2,420.0	2,493.0		
上位成果指標	ア	人数		197.0	205.0	211.0	218.0	224.0	231.0		
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年、南アルプス市合併と同時にわかくさ図書館も開館し、それに伴い旧町村の公共図書館がネットワークで結ばれ、運営を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	図書館利用登録者も年々増し、資料の貸出数や予約数も増えた。今後も、市民への周知や行事の工夫などを行うことで今後も図書館利用者が増えていくことが予想される。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	他館の図書館資料も近くの図書館で利用でき、喜ばれている。電話やインターネットでも資料の検索や予約もでき、とても便利だという声が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	自館にない資料は、市内外または県外から取りよせることができる相互貸借サービスやレファレンスサービス(調査相談)等のPRをしてきた。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	新システム開始によりホームページからの利用が便利になった。またCD・DVD等の貸出・返却が市内どここの館からでも可能となった。図書館内の展示方法や文字を統一し、効果的に利用者にアピールするよう工夫した。

事務事業名	わかかさ図書館運営事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民の暮らしに役立つさまざまなサービスや調査・相談を行い、市民の読書活動や学習活動に貢献している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 図書館は営利目的ではなく、市民が必要とする資料・情報の提供等、きめ細かな学習支援の充実が求められている。このため、図書館運営は設置者である市での運営が妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市民が暮らしに必要な情報を得、また課題解決のための調査・相談をする場所として、将来にわたり維持・継続していくことは妥当である。目的や事業の必要性も見直す余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 事業への市民の理解を得るためには、これまで以上に広報活動を拡充させ、職員が図書館外に出てこの事業のPRをしていく必要がある。指定管理者と連携した事業を開催する。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 各地域に図書館があることで、車に乗れない人等、市民が格差なく図書館サービスを利用できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市民が暮らしに必要な情報を得たり、課題解決のための調査・相談をする場所がなくなる。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市民の生涯学習を支援できなくなるため休止・廃止はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最小限の事業費の中で事業を行っている。これ以上の削減は市民サービスの低下につながる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在、正規職員1名、常勤臨時職員2名で業務にあたっているため、これ以上の人件費の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 誰でも利用できる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	様々な事業を展開している。 指定管理者との協働事業も、今後に繋げていく事が望ましい。 事業周知方法を構築して行く事を念頭において今後も事業展開をしていく事が望ましい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 図書館の様々なサービスを市民に周知させる工夫をする。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
① この事業の内容をより多くの市民に周知するためには、図書館内外だけでなく、様々な施設の掲示スペース等を利用して更なる広報活動を工夫していく。また、他課等の事業に職員が出かけてPRしていく。 ② 出前サービスや団体利用・貸出の促進を図る。 ③ 指定管理者との合同事業を開催する。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					